

兵庫県豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町

たじま農業協同組合

環境  
保全型  
農業

コウノトリとの共生を  
目指した農法



取組内容

- コウノトリ野生復帰のため、多様な生き物が暮らせる環境づくりを目指し、環境への負荷軽減と安心・安全な米の生産を実現する環境保全型農業を推進。
- 毎年、土壌診断を行い、適正施肥を実施しており、堆肥は資源循環のために地元産の牛ふんと鶏ふんの活用を推進しているほか、通常の稲作にはない冬期湛水等の水管理により、水田に生息する生き物を保全するなど持続的な農業生産を推進。
- 令和3年時点で8か国・地域(米国、シンガポール、香港、UAE、オーストラリア、スイス、フランス、台湾)に輸出。

取組に至った経緯

- コウノトリは生育環境の悪化により生息数が急減。最後の生息地であった豊岡市では「コウノトリ野生復帰プロジェクト」の取組を進める。
- 「コウノトリも住める豊かな文化・地域・環境づくりを目指す」という明確な目的のもと、農業や化学肥料に頼らず、美味しいお米と多様な生き物を同時に育む「コウノトリ育む農法」が誕生。

取組の拡大状況

- 取組面積 平成15年 0.7ha → 令和3年 495ha
- 取組農業者数 平成15年 5名 → 令和3年 275名

取組の成果(受賞等)

- 平成22年度 第12回グリーン購入大賞 環境大臣賞
- 平成24年度 第42回日本農業賞 第9回食の架け橋賞
- 平成27年度 但馬産業大賞 自然と共生する環境創造事業部門
- 平成30年度 COOL JAPAN AWARD 2017
- 令和元年度 近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール GAP部門 近畿農政局長賞
- 令和2年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール(有機農業・環境保全型農業部門)農林水産大臣賞



海外展示会に出展

今後の課題・展望

- 様々なステークホルダーとの関係構築や共感でつながるパートナーとの協働を進め、取組の拡大を目指す。
- 世界各国で環境保全米の食農教育を行い、日本食普及や輸出促進につなげる。